

川平第二発電所の建設工事開始について

当社は、川平第二発電所（水力、出力 110kW、鳥取県日野郡江府町）の建設について、昨年3月17日に鳥取県江府町ほか関係各所に対し建設を申し入れ、準備を進めてまいりましたが（平成17年3月17日報道発表済み）、本日、建設工事を開始いたしました。

川平第二発電所は、RPS法^{*1}対象設備の認定を目的として同法施行後に開発計画を開始した電力会社では初めての水力発電所であり、水車・発電機の性能上これまで利用できなかった川平発電所（昭和6年運転開始）の小流量の水を有効利用して発電するもので、当社初の水中タービン発電機^{*2}を採用します。

今後は、平成18年9月の運転開始を目指し、安全確保、環境保全に最大限努めながら工事を進めてまいります。

○ 川平第二発電所の概要

【計画概要】

発電所名	川平第二発電所
計画地	鳥取県日野郡江府町久連
発電型式	水路式
最大出力	110kW
最大使用水量	1.6m ³ /s
有効落差	約9m
水路延長	取水口：約6m、水圧管路：約39m 発電所：約6m、放水路：約4m
水車・発電機	水中タービン発電機（イームル工業製）

○ 工事期間 平成18年2月15日～平成18年9月（予定）

※1 RPS法（Renewables Portfolio Standard）

「電気事業者による新エネルギー等の利用に関する特別措置法」（平成15年4月施行）

※2 水中タービン発電機

水車と発電機が一体構造で、水路内に吊り込み設置する水車・発電機です。

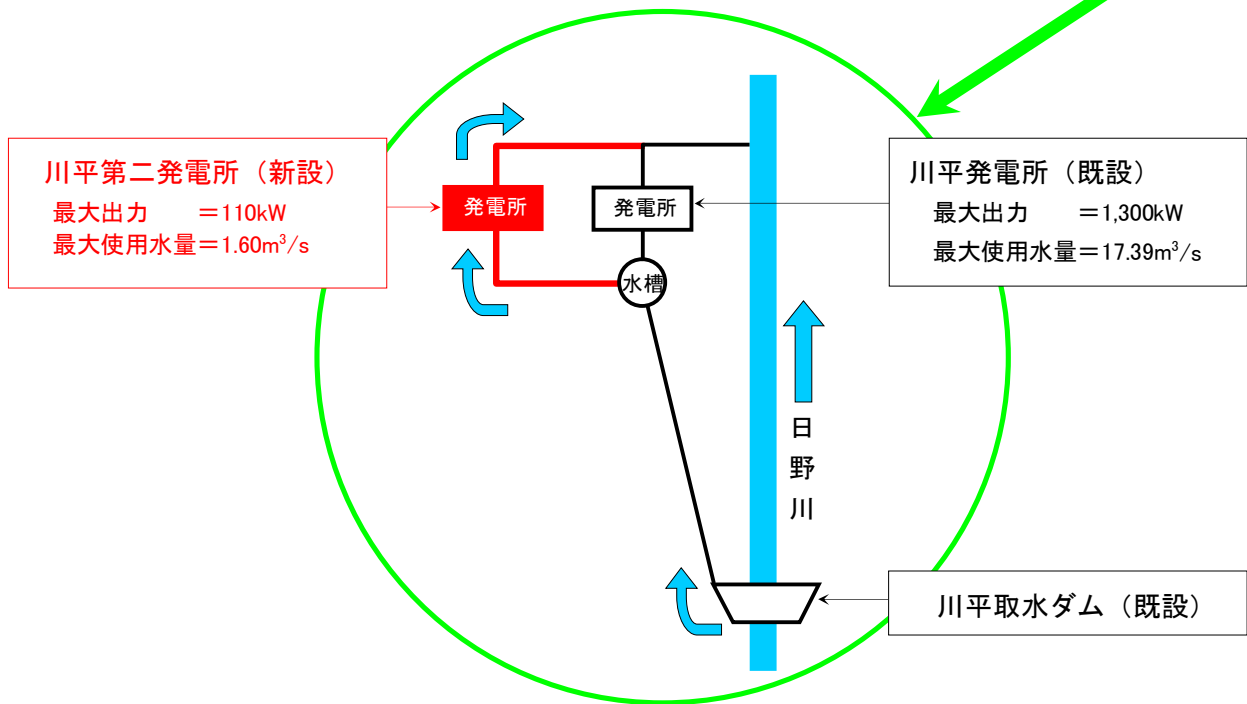
以上

【別紙】 川平第二発電所計画概要図

川平第二発電所 計画概要図



位置図



計画模式図